

会 議 録		令和 8 年 7 月 6 日作成	令和12年 3 月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和 8 年度第 1 回）		
開催日	令和 8 年 6 月 25 日（木曜日）		
時 間	午後 4 時から午後 5 時 30 分までの間（90 分）		
場 所	京都府福知山警察署 講堂		
出席者	北村会長、中司副会長、佐竹副会長、片山委員、佐々木委員、大槻委員、 間木委員、林委員、田中委員、白波瀬委員、十倉委員 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴・相談係長 計10人		
諮 問 事 項	1 福知山警察署創立 150 周年における取組について 2 鑑識資料について		
会 議 内 容	1 委嘱状交付 司会 副署長 2 署長挨拶 3 委員自己紹介 4 福知山警察署幹部自己紹介 5 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 福知山警察署創立 150 周年における取組について～警務課長 【委員】福知山警察署の創立 150 周年に合わせた取組として、職員の飼犬「はち」を広報犬に任命したということであるが、各種広報にどのように関わっているか。 【警察】交通安全教室や防犯指導に連れていき一緒に広報活動を行っている。 また、広報犬の写真とともに広報啓発文を記載したティッシュ等を作成するなど、防犯啓発グッズ等にも積極的に活用している。 福知山警察署創立 150 周年に合わせた取組の一環としても広報を行っている。 【委員】広報犬を任命したことで、広報活動において具体的にどのような効果が得られているか。 【警察】警察官が広報啓発活動を行う際に、注目されやすく親しみやすい、インパクトのある状況を作り出すための力となっている。例えば「わんわんパトロール」と銘打ち広報犬を連れてパトロールすることで親しみが生まれ、目立		

会 議
内 容

つパトロール活動となる等の相乗効果を生み出している。また、広報犬が反射材を使った制服を着用することで、反射材の効果を体験してもらっている。

公かいに広報犬を配置することで、これまでは運転免許証や車庫証明の手続等の待ち時間が長いことでイライラされたり、中には大きな声をあげられる方も見られ殺伐とした場面もあったところ、広報犬がいることで公かいに和やかな雰囲気が生まれている。

署員からも「仕事が立て込むと気持ちが急かされ、公かいを走り回りそうになるが、公かいで「はち」と目が合うと自然と気持ちが落ち着く。」との声も聴かれ、一定の効果をj得ている。

【委員】 広報犬について市民への周知はされているか。

【警察】 各種広報活動に参加しており、報道でも任命式をはじめ様々な活動が取り上げられていることから、一定の周知はなされている。

【委員】 創立 150周年に合わせた取組はいつから始まっていたか。

【警察】 本年2月ころから各種広報と併せて始まっており、9月ころには大きくイベントを開催しようと計画しているところである。

記念すべき 150周年の機会に福知山警察署に所属していたことは署員にも記念になるため、署員も楽しめるイベントにしたいと考えている。

【委員】 福知山警察署が創立 150周年であることをより広く知ってもらえるイベントにしてみたい。

150周年の記録をとり、協議会等で披露していただくのもよいかと思う。

(2) 諮問事項説明

鑑識資料について～刑事課長

【委員】 鑑識体験として指紋採取や足跡の確認等を実施したが、実演型の協議はとても勉強になり、楽しく体験することができた。

現場で指紋が採取できない場合はどう対応するのか。

【警察】 指紋が採取できない現場もよくあり、そのような状況の際はDNA型等の指紋以外の鑑識資料を採取し対応している。

現場において様々な鑑識資料が採取できるよう日々努めている。

【委員】 市民が指紋採取の協力を求められ応じた場合、採取された指紋は資料として保存され続けるのか。

【警察】 事件現場において御家族などから指紋採取の協力を求めることはあるが、あくまで事件現場から犯人以外の指紋を除くことが目的であるから、指紋の採取を行い照合が終了した後に廃棄しており、保存され続けることはない。

【委員】 指紋が悪用されることもあり得るのか。

【警察】 自分の指の写真をSNS等に投稿すると、指紋が悪用される可能性があるjので、SNS等への写真の投稿には気を付けていただきたい。

6 事務連絡

令和8年度第2回福知山警察署協議会は、令和8年9月中旬に実施予定である。

以上

第1回京都府福知山警察署協議会の開催状況

